

【1 分解説】エイジズム(年齢差別)とは？

総合調査部 副主任研究員 高宮 咲妃

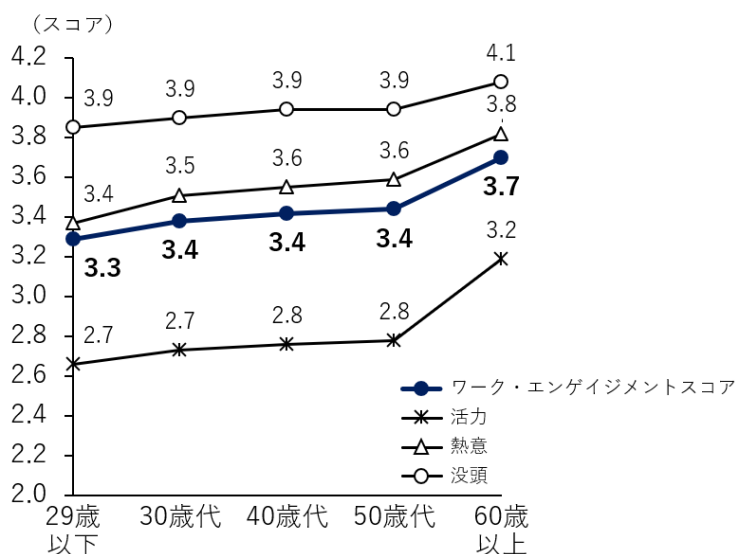
エイジズム(年齢差別)とは、年齢を理由にした偏見や差別のことを指し、Robert Butler によって1969年に提唱されました。彼はエイジズムを「高齢であることを理由とした体系的なステレオタイプ化と差別のプロセス」と定義しており、アメリカ社会においては、レイシズム(人種差別)、セクシズム(性差別)と並ぶ三大差別の一つに位置付けられています。

こと職場においては、エイジズム、つまり、加齢による「能力・意欲の低下」「身体の衰え」など、負の側面にばかり目を向けた先入観が原因で、適切な人材配置等がなされず、組織内のイノベーションやパフォーマンスに影響を及ぼす危険性があります。

たとえば、仕事へのモチベーションの観点でいうと、下記資料のようにワーク・エンゲージメント(≒働きがい)については、加齢とともに上昇傾向であり、必ずしも加齢とともにモチベーションが下がってパフォーマンスが低下するとは一概にいえません。

このように、加齢による内面変化については、先入観で決めつけず、実態に即した正確な理解をすべきだといえます。

資料 年代別 ワーク・エンゲージメント・スコアの推移



(注)ワーク・エンゲージメント・スコアは、調査時点の主な仕事(副業を除く)に対する認識として、「仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる」(活力)、「仕事に熱心に取り組んでいる」(熱意)、「仕事をしていると、つい夢中になってしまう」(没頭)と質問した項目に対して、「いつも感じる(=6点)」「よく感じる(=4.5点)」「時々感じる(=3点)」「めったに感じない(=1.5点)」「全く感じない(=0点)」とした上で、「活力」「熱意」「没頭」の3項目全てに回答している16,579サンプルについて、1項目当たりの平均値として算出している。

(出所)厚生労働省「令和元年度労働経済の分析」(2019)より第一生命経済研究所作成

関連レポート

・「【1分解説】ワーク・エンゲージメントとは？」(2023年1月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/230361.html>

【参考文献】

R. N. Butler (1969) “Age-ism: Another Form of Bigotry”